



2020年3月期 第2四半期

決算説明会資料

2019年10月31日

日本通運 株式会社

目次

I. 2020年3月期第2四半期 業績

A. 2020年3月期第2四半期 決算概要	P.4
B. セグメント別実績	P.5
C. 直近5年間推移	P.6-
D. 財政状態とキャッシュ・フローの状況	P.8
E. 外部環境の変化およびその他の変動要素	P.9-
F. 売上高・営業利益増減内訳	P.11-

II. 2020年3月期 セグメント概況

A. 日本セグメント	P.13
B. 米州セグメント	P.14
C. 欧州セグメント	P.15
D. 東アジアセグメント	P.16
E. 南アジア・オセアニアセグメント	P.17
F. 警備輸送セグメント	P.18
G. 重量品建設セグメント	P.19
H. 物流サポートセグメント	P.20

III. 2020年3月期 業績予想

A. 連結業績予想	P.21
B. セグメント別予想	P.22
C. 外部環境の変化およびその他の変動要素(予想)	P.23-
D. 売上高・営業利益増減内訳	P.25-
(参考) 個別 総人経費の増減	P.27

IV. 日通グループ経営計画2023 KPI

A. 日通グループ経営計画2023 KPI<コア事業の成長戦略> (10/31修正版)	P.28
B. 進捗	P.29-

V. 株主還元

A. 資本政策	B. 各種実績推移	P.31
---------	-----------	------

VI. 「日本事業強靱化戦略」

～支店組織大括り化後のロードマップ～	P.32
--------------------	------

本日の説明内容とポイント	P.2
--------------	-----

補足資料

(補足1) 日本発 輸出航空貨物 重量動向	P.34
(補足2) 日本セグメント内事業別営業利益増減(FY2019 2Q累計)	P.35
(補足3) 輸出貨物動向(航空)	P.36
(補足4) 輸出貨物動向(海運)	P.37
(補足5) 個別費用増減(FY2019 2Q累計)	P.38

本日の説明内容とポイント

1. 2020年3月期上期業績に関する評価と今後の見通しについて
日通グループ経営計画2023の進捗について
代表取締役社長 齋藤 充
2. 2020年3月期第2四半期決算と今後の見通しについて
取締役 増田 貴
3. 重点産業の進捗と航空事業の見通しについて
代表取締役副社長
ビジネスソリューション部門総括 石井 孝明
4. 社員制度改革の今期影響の修正について
代表取締役副社長
コーポレートソリューション部門総括 竹津 久雄
5. 支店組織大括り化後のロードマップについて
代表取締役副社長
日本事業部門総括 秋田 進

組織改正(2019年4月15日付) 全社を4部門・7本部に再編

ビジネス ソリューション部門

- ・グローバル営業戦略本部
- ・海外事業本部

コア事業の成長戦略、
グループ全体の営業活動と
海外事業の推進

日本事業部門

- ・日本事業本部
- ・ネットワーク商品事業本部

日本事業の強靱化戦略と
ネットワーク事業の推進

コーポレート ソリューション部門

- ・コーポレートサポート本部
- ・CSR本部

事業活動のサポート、
安全衛生とCSR経営の推進

経営戦略部門

- ・経営戦略本部

グループ全体の経営戦略、
事業ポートフォリオの見直し、
ガバナンスの強化等

「非連続な成長」の実現

経営計画の各施策を迅速に
推進する体制構築

スピード感を持った
決断・実行

I. 2020年3月期第2四半期 業績

A 2020年3月期第2四半期 決算概要

1. 概要(連結)

(単位:億円、%)

項目	2020/3期 第2四半期 累計実績	2019/3期 第2四半期 累計実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	第2四半期 累計予想 (7/31発表)	差額	達成率
売上高	10,389	10,403	△13	△0.1	10,500	△110	98.9
営業利益	291	340	△48	△14.4	270	21	107.9
経常利益	328	377	△49	△13.1	300	28	109.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	190	234	△44	△18.9	170	20	111.8

(億円未満切捨て)

2. 連結経営指標

- 売上高営業利益率 2.8% (3.3%)
- 売上高経常利益率 3.2% (3.6%)

()は、前年同期実績

【ご参考】 ()は前年度実績

- ROA 2.9% (3.2%)
- ROE 8.4% (9.2%)

(注) 当期純利益は、通期予想で算出しております。

I. 2020年3月期第2四半期 業績

B セグメント別実績

(単位:億円、%)

セグメント	項目	2020/3期 第2四半期 累計実績	2019/3期 第2四半期 累計実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	第2四半期 累計予想 (7/31発表)	差額	達成率
日本	売上高	6,103	6,157	△54	△0.9	6,196	△92	98.5
	セグメント利益	205	238	△32	△13.7	186	19	110.7
米州	売上高	477	472	5	1.1	475	2	100.6
	セグメント利益	19	22	△2	△13.3	20	△0	96.4
欧州	売上高	588	559	28	5.2	595	△6	99.0
	セグメント利益	12	7	5	69.7	13	△0	94.4
東アジア	売上高	559	588	△29	△5.0	554	5	101.0
	セグメント利益	15	11	4	34.5	14	1	111.6
南アジア・ オセアニア	売上高	441	444	△3	△0.8	439	2	100.5
	セグメント利益	15	19	△3	△18.2	20	△4	79.1
警備輸送	売上高	364	359	4	1.2	368	△3	99.0
	セグメント利益	△12	2	△15	—	△19	6	—
重量品建設	売上高	272	248	23	9.6	270	2	100.9
	セグメント利益	26	20	5	27.7	22	4	121.2
物流 サポート	売上高	2,283	2,285	△2	△0.1	2,366	△82	96.5
	セグメント利益	57	57	0	0.3	58	△0	99.6

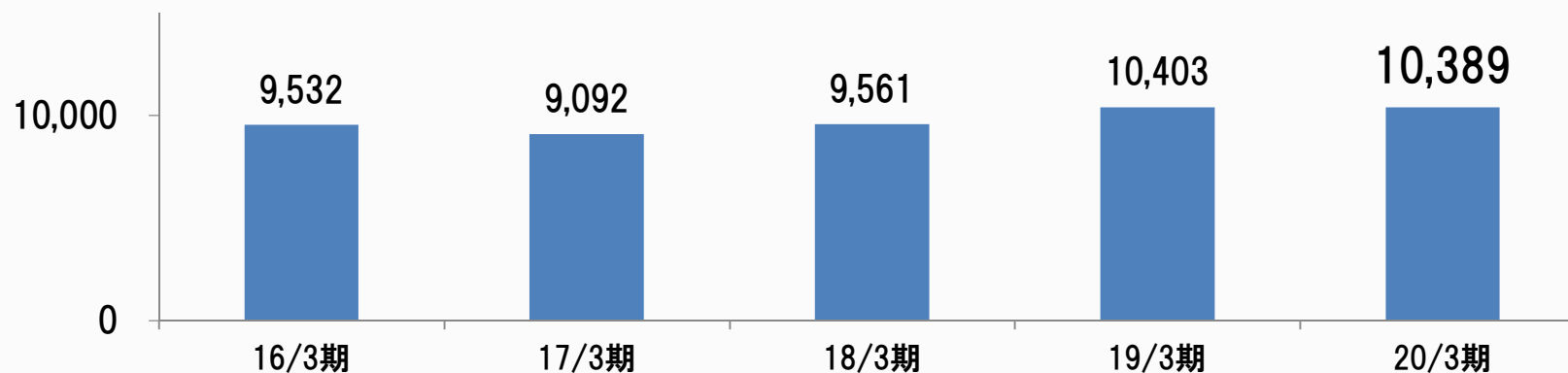
(億円未満切捨て)

I. 2020年3月期第2四半期 業績

C 直近5年間推移

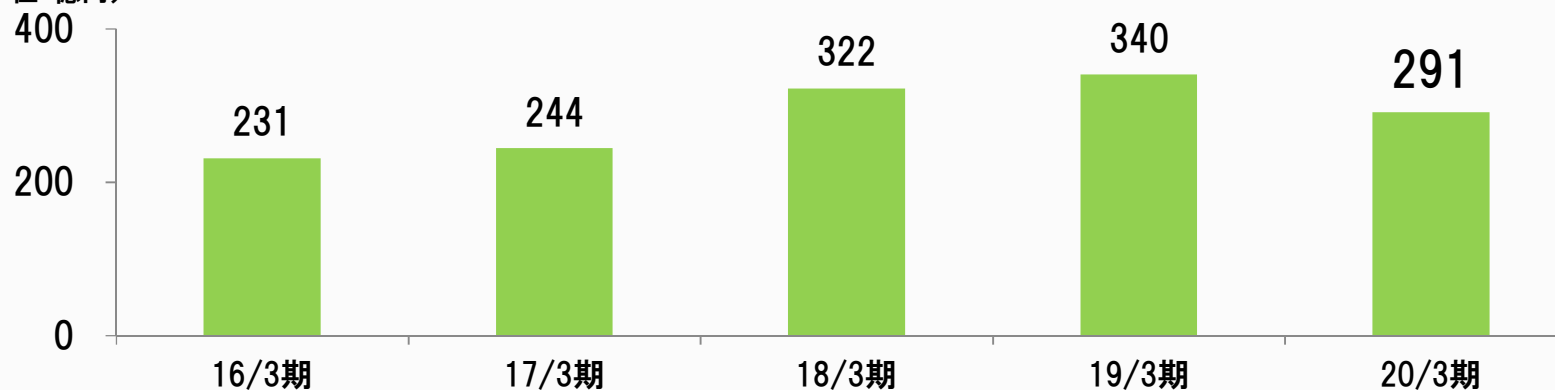
1. 売上高

(単位:億円)



2. 営業利益

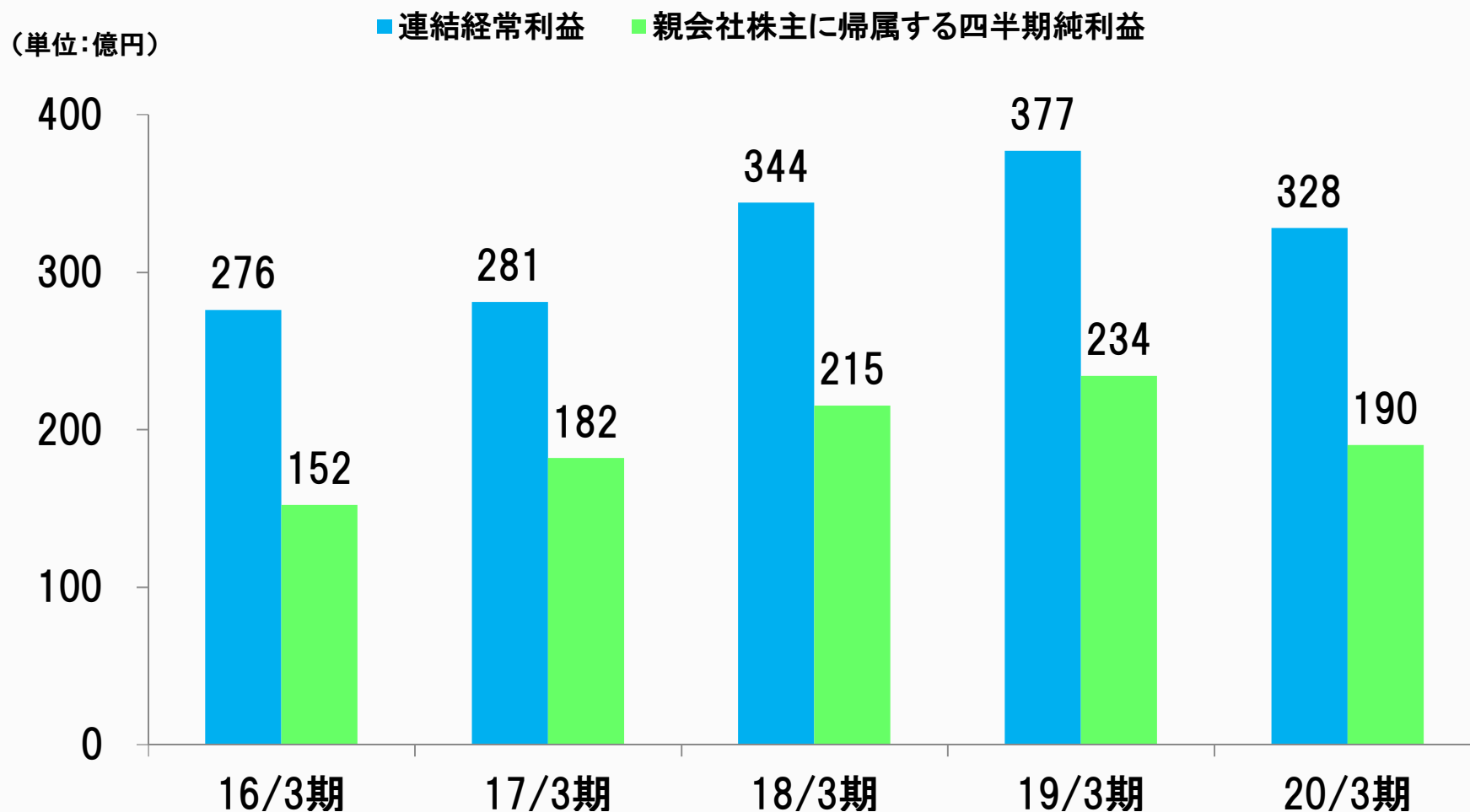
(単位:億円)



I. 2020年3月期第2四半期 業績

C 直近5年間推移

3. 経常利益と親会社株主に帰属する四半期純利益



I. 2020年3月期第2四半期 業績

D 財政状態とキャッシュ・フローの状況

1. 財政状態

(単位:億円、%)

項目	2020/3期 第2四半期末	2019/3期末	増減額
総資産	15,329	15,366	△37
自己資本	5,683	5,436	247
自己資本比率	37.1	35.4	—

2. キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

項目	2020/3期 第2四半期累計期間	2019/3期 第2四半期累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー(A)	407	312	95
投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	△417	△599	182
フリー・キャッシュ・フロー(A+B)	△10	△287	277
財務活動によるキャッシュ・フロー	72	△57	129

項目	2020/3期 第2四半期末	2019/3期 第2四半期末	増減額
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,067	1,009	58

ご参考項目	2020/3期 第2四半期末	2019/3期末	増減額
現金及び現金同等物の四半期末残高/期末残高	1,067	1,020	46

I. 2020年3月期第2四半期 業績

E 外部環境の変化およびその他の変動要素

変動要素	連結業績への影響 (第2四半期累計)	参考
燃油費単価変動による影響	営業利益 + 3.1 億円 (費用減) ※1Q: △0.6 億円(費用増) 2Q: +3.8 億円(費用減) 前回予想: +3.7億円(費用減)	1ℓあたりの単価 (前年同期/前回予想) <ul style="list-style-type: none"> 軽油 : 100.89円(104.71円/97.50円) ガソリン : 134.99円(137.50円/136.90円) 船舶重油: 53.52円(55.28円/54.60円)
為替による影響	売上高 △ 50.3 億円 営業利益 △ 1.6 億円 ※1Q:売上高 △23.7億円 営業利益 △ 0.7 億円 2Q:売上高 △26.5億円 営業利益 △ 0.8 億円	累計期間平均為替レート※(前年同期/前回予想) <ul style="list-style-type: none"> USD : 110.05円(108.69円/108.90円) EUR : 124.32円(131.64円/123.40円) HKD : 14.03円(13.87円/ 13.90円) RMB : 16.20円(17.09円/ 15.90円) ※「累計期間平均為替レート」は、参考値。 決算では、四半期平均レートを各現地通貨ベースの四半期実績に適用。
退職給付会計の数理差異償却額の増加	営業利益 △ 8.6 億円 ※1Q: △ 4.3億円 2Q: △ 4.3億円	<ul style="list-style-type: none"> 日本 : △ 6.9 億円 警備輸送 : △ 1.5 億円 重量品建設 : △ 0.2 億円

I. 2020年3月期第2四半期 業績

E 外部環境の変化およびその他の変動要素

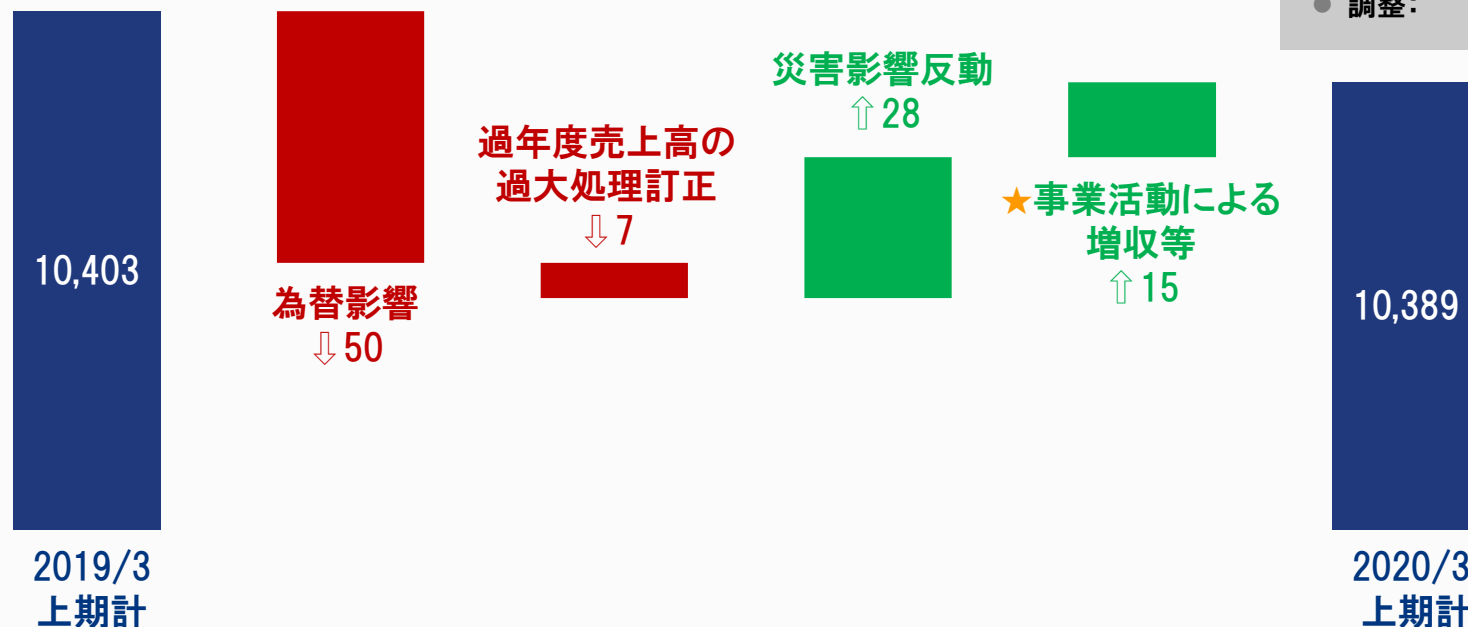
変動要素	連結業績への影響 (第2四半期累計)	参考
災害による影響 (前年特殊要因)	営業利益 + 9.0 億円	<ul style="list-style-type: none"> 日本 : + 9.0億円(2Q)
社員制度改革に伴う増減	営業利益 Δ 21.2 億円 ※1Q: Δ 9.6億円 2Q: Δ 11.5億円	<ul style="list-style-type: none"> 日本 : Δ 14.2億円 警備輸送 : Δ 6.8億円 重量品建設 : Δ 0.1億円
環境投資	営業利益 Δ 2.4 億円	<ul style="list-style-type: none"> 日本 : Δ 2.4 億円(2Q)
賞与支給対象期間の変更の影響	営業利益 Δ 46.3 億円	<ul style="list-style-type: none"> 日本 : Δ 35.4 億円(1Q) 警備輸送 : Δ 9.7 億円(1Q) 重量品建設 : Δ 1.1 億円(1Q)
退職金規程の変更の影響	営業利益 + 3.8 億円	<ul style="list-style-type: none"> 日本 : + 3.5 億円(2Q) 警備輸送 : + 0.2 億円(2Q) 重量品建設 : + 0.1 億円(2Q)
過年度売上高の過大処理訂正	売上高、営業利益 Δ 7.8 億円	<ul style="list-style-type: none"> 日本 : Δ 7.8 億円(2Q)

I. 2020年3月期第2四半期 業績

F 売上高・営業利益増減内訳

1. 売上高

(億円)



★事業活動による増収等 セグメント内訳

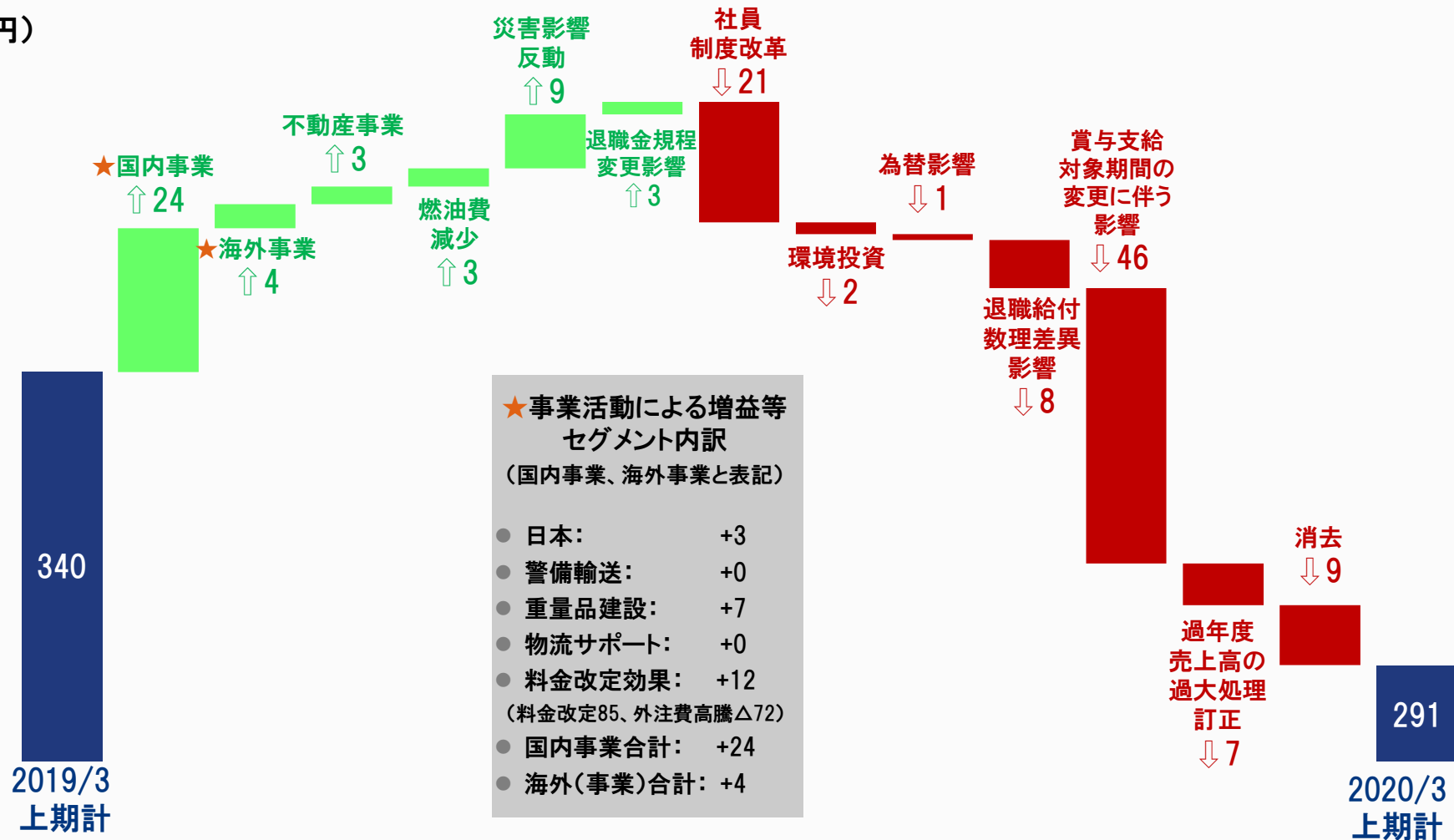
- 日本: $\Delta 75$
- 海外合計: +52
- 警備輸送: +4
- 重量品建設: +23
- 物流サポート: $\Delta 2$
- 調整: +13

I. 2020年3月期第2四半期 業績

F 売上高・営業利益増減内訳

2. 営業利益

(億円)



Ⅱ. 2020年3月期 セグメント概況

A 日本セグメント

1. 2Q単四半期実績

(単位:億円、%)
 ※()内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	3,077	3,084	△6	△0.2
営業利益*	132(4.3)	118(3.8)	14	11.9

2Q概況

鉄道輸送は、前年の災害影響の反動により増収。
 トラック輸送は、消費財、電機・電子関連は順調、鉄鋼や自動車関連部品の荷動きが鈍化。
 航空輸送は、輸出混載貨物重量が、対前年▲38.6%と、過去最高水準の前年反動から、減少率が大きく推移。

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	3,025	3,077	6,103	—	—	6,304	12,408
営業利益*	73(2.4)	132(4.3)	205(3.4)	—	—	287(4.6)	493(4.0)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	3,073	3,084	6,157	3,346	3,063	6,410	12,568
営業利益*	119 (3.9)	118 (3.8)	238 (3.9)	188 (5.6)	133 (4.3)	321(5.0)	559(4.5)

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	△48 △1.6	△6 △0.2	△54 △0.9	—	—	△105 △1.6	△160 △1.3
営業利益	△46 △39.0	14 11.9	△32 △13.7	—	—	△33 △10.6	△66 △11.9

特殊要因

- ・過年度売上高の過大処理訂正:【売上高・営業利益】△7(2Q)
- ・前年の災害影響反動:【売上高】+28(2Q)
 【営業利益】+9(2Q)、+1(3Q)
- ・燃油費単価の減少:【営業利益】+7(年間)、+2(上期)
- ・退職金規程変更に伴う影響:【営業利益】+9(年間)、+3(上期)
- ・退職給付数理差異影響:【営業利益】△13(年間)、△6(上期)
- ・賞与支給対象期間の変更:【営業利益】△35(上期)
- ・社員制度改革に伴う費用増:【営業利益】△32(年間)、△14(上期)

見通し概況

航空・輸出フォワーディングの荷動きの鈍化傾向は、継続見通し。
 倉庫・保管庫事業、移転・引越事業は、堅調に推移。
 一方、その他の事業は、減少見込み。
 社員制度改革、賞与支給対象期間の変更による人件費増の影響がある一方、超勤時間の削減、社員制度改革に伴う退職金規程の変更による効果があり、当初より人件費の増額が圧縮見通し。

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額	実績	前回予想	増減額	今回予想	前回予想	増減額
売上高	12,408	12,618	△210	6,103	6,196	△92	6,304	6,422	△117
営業利益*	493 (4.0)	472 (3.7)	21	205 (3.4)	186 (3.0)	19	287 (4.6)	286 (4.5)	1

Ⅱ. 2020年3月期 セグメント概況

B 米州セグメント

1. 2Q単四半期実績

(単位:億円、%)
 ※()内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	237	240	△3	△1.3
営業利益※	10(4.5)	13(5.7)	△3	△22.1

2Q概況

海運輸出は、新規案件や既存顧客の取扱増。
 倉庫配送業務や自動車運送でも、既存顧客の取扱増。
 航空輸出は、自動車関連の減などの影響が大きく、減収。
 航空輸出減少による利用費減、人件費等の管理コストの圧縮を
 図ったが、減益。

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	240	237	477	—	—	459	937
営業利益※	8(3.6)	10(4.5)	19(4.0)	—	—	19(4.3)	39(4.2)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	231	240	472	251	262	514	986
営業利益※	8(3.7)	13(5.7)	22(4.7)	11(4.7)	8(3.3)	20(4.0)	42(4.3)

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	8 3.7	△3 △1.3	5 1.1	—	—	△55 △10.8	△49 △5.1
営業利益	0 0.6	△3 △22.1	△2 △13.3	—	—	△0 △3.3	△3 △8.5

特殊要因

・為替影響:【売上高】△14(年間)、+5(上期)
 【営業利益】△0(年間)、+0(上期)

見通し概況

世界経済の減速などによる景気の下押し要因が顕在化。
 航空事業を中心とした国際貨物の輸送需要が予想以上に低迷。
 回復は、さらに時間を要すると想定。

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額	実績	前回予想	増減額	今回予想	前回予想	増減額
売上高	937	997	△60	477	475	2	459	522	△62
営業利益※	39(4.2)	47(4.7)	△8	19(4.0)	20(4.2)	△0	19(4.3)	27(5.2)	△7

II. 2020年3月期 セグメント概況

C 欧州セグメント

1. 2Q単四半期実績

(単位:億円、%)
 ※()内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	289	274	15	5.6
営業利益※	4(1.7)	1(0.6)	3	202.8

2Q概況

航空輸出が、ドイツでの自動車関連、ベルギーでの既存顧客の取扱い減少。一方、倉庫配送業務で、新規取扱いが開始。
 海運・自動車も堅調に推移。
 費用面では、引き続き人件費が高止まったものの、増益。

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	298	289	588	—	—	610	1,199
営業利益※	7(2.4)	4(1.7)	12(2.1)	—	—	15(2.6)	28(2.3)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	285	274	559	274	313	588	1,148
営業利益※	5 (2.0)	1 (0.6)	7 (1.3)	4 (1.7)	10 (3.5)	15 (2.6)	22(2.0)

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	13 4.8	15 5.6	28 5.2	—	—	21 3.7	50 4.4
営業利益	1 30.7	3 202.8	5 69.7	—	—	0 1.6	5 23.3

特殊要因

・為替影響:【売上高】△78(年間)、△31(上期)
 【営業利益】△2(年間)、△1(上期)

見通し概況

世界経済の減速などによる景気の下押し要因が顕在化。
 航空事業を中心とした国際貨物の輸送需要が予想以上に低迷。
 回復は、さらに時間を要すると想定。

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額	実績	前回予想	増減額	今回予想	前回予想	増減額
売上高	1,199	1,229	△30	588	595	△6	610	634	△23
営業利益※	28 (2.3)	30 (2.4)	△2	12 (2.1)	13 (2.2)	△0	15 (2.6)	17 (2.7)	△1

Ⅱ. 2020年3月期 セグメント概況

D 東アジアセグメント

(単位:億円、%)
 ※()内は営業利益率(%)

1. 2Q単四半期実績

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	283	304	△21	△6.9
営業利益※	9(3.3)	7(2.5)	1	20.2

2Q概況
 中国を中心とした国際貨物輸送需要低迷で航空輸出が減少。海運・倉庫配送業務は増収だったが、全体では減収。航空利用費について、特に、香港日通で仕立ての効率化による費用の抑制が進行。

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	275	283	559	—	—	580	1,140
営業利益※	6(2.3)	9(3.3)	15(2.8)	—	—	15(2.6)	31(2.7)

特殊要因
 ・為替影響:【売上高】△57(年間)、△19(上期)
 【営業利益】△1(年間)、△ 0(上期)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	283	304	588	308	331	639	1,227
営業利益※	3 (1.4)	7 (2.5)	11 (2.0)	8 (2.6)	10 (3.1)	18 (2.9)	30(2.5)

見通し概況
 世界経済の減速などによる景気の下押し要因が顕在化。航空事業を中心とした国際貨物の輸送需要が予想以上に低迷。回復は、さらに時間を要すると想定。

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	△8 △2.8	△21 △6.9	△29 △5.0	—	—	△58 △9.1	△87 △7.1
営業利益	2 63.3	1 20.2	4 34.5	—	—	△3 △16.7	+0 3.1

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額	実績	前回予想	増減額	今回予想	前回予想	増減額
売上高	1,140	1,210	△70	559	554	5	580	656	△75
営業利益※	31 (2.7)	33 (2.7)	△2	15 (2.8)	14 (2.5)	1	15 (2.6)	19 (2.9)	△3

Ⅱ. 2020年3月期 セグメント概況

E 南アジア・オセアニアセグメント

(単位:億円、%)

※()内は営業利益率(%)

1. 2Q単四半期実績

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	221	226	△5	△2.2
営業利益※	8(3.8)	10(4.7)	△2	△21.2

2Q概況

海運が引き続き堅調。倉庫配送業務において、自動車関連や
 アパレル関連を中心に堅調に推移。
 航空輸出がスポットの反動減の影響により減収。
 利益面は、人件費など固定費が引き続き増加傾向。

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	219	221	441	—	—	464	906
営業利益※	7(3.4)	8(3.8)	15(3.6)	—	—	17(3.7)	33(3.6)

特殊要因

・為替影響:[売上高]△15(年間)、△5(上期)
 【営業利益】△0(年間)、△0(上期)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	218	226	444	236	237	474	918
営業利益※	8(4.0)	10(4.7)	19(4.3)	10(4.3)	7(3.2)	17(3.7)	37(4.0)

見通し概況

世界経済の減速などによる景気の下押し要因が顕在化。
 航空事業を中心とした国際貨物の輸送需要が予想以上に低迷。
 回復は、さらに時間を要すると想定。

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	1 0.8	△5 △2.2	△3 △0.8	—	—	△9 △2.0	△12 △1.4
営業利益	△1 △14.5	△2 △21.2	△3 △18.2	—	—	△0 △3.3	△4 △11.1

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額	実績	前回予想	増減額	今回予想	前回予想	増減額
売上高	906	936	△30	441	439	2	464	497	△32
営業利益※	33(3.6)	43(4.6)	△10	15(3.6)	20(4.6)	△4	17(3.7)	23(4.6)	△5

Ⅱ. 2020年3月期 セグメント概況

F 警備輸送セグメント

(単位:億円、%)
 ※()内は営業利益率(%)

1. 2Q単四半期実績

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	180	179	0	0.4
営業利益※	△0(△0.5)	△0(△0.2)	△0	-

2Q概況
SD機の販売増により、売上高の増加。 社員制度改革の影響による人件費増の影響もあり、若干の営業赤字。

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	184	180	364	-	-	364	729
営業利益※	△11(△6.5)	△0(△0.5)	△12(△3.5)	-	-	0(0.2)	△12(△1.6)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	180	179	359	181	185	366	726
営業利益※	3 (1.8)	△0(△0.2)	2 (0.8)	3 (1.8)	6 (3.3)	9 (2.6)	12(1.7)

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	3 2.0	0 0.4	4 1.2	-	-	△1 △0.5	2 0.3
営業利益	△15 -	△0 -	△15 -	-	-	△8 -	△24 -

特殊要因
・燃油費単価の減少:【営業利益】+1(年間)、+0(上期)
・退職金規程変更に伴う影響:【営業利益】+0(年間)、+0(上期)
・退職給付数理差異影響:【営業利益】△3(年間)、△1(上期)
・賞与支給対象期間の変更に伴う影響:【営業利益】△9(年間)、△9(上期)
・社員制度改革に伴う費用増:【営業利益】△14(年間)、△6(上期)

見通し概況
社員制度改革等、人件費に関連するコストの大幅上昇。 人手不足を背景とした料金改定交渉や設定便の効率化などのコスト削減の取組み効果により、7月31日公表時点から、赤字幅は、圧縮見通し。

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額	実績	前回予想	増減額	今回予想	前回予想	増減額
売上高	729	739	△10	364	368	△3	364	371	△6
営業利益※	△12 (△1.6)	△18 (△2.4)	6	△12 (△3.5)	△19 (△5.2)	6	0 (0.2)	1 (0.3)	△0

Ⅱ. 2020年3月期 セグメント概況

G 重量品建設セグメント

(単位:億円、%)
 ※()内は営業利益率(%)

1. 2Q単四半期実績

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	138	124	14	11.3
営業利益※	16(11.6)	10(8.2)	5	57.1

2Q概況
日本国内での需要が旺盛な風力発電、シャットダウンメンテナンス工事が伸長。

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	133	138	272	—	—	227	500
営業利益※	10(7.9)	16(11.6)	26(9.8)	—	—	24(10.7)	51(10.2)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	124	124	248	120	108	228	477
営業利益※	10 (8.6)	10 (8.2)	20 (8.4)	15 (13.0)	8(8.0)	24(10.6)	45(9.5)

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	9 7.8	14 11.3	23 9.6	—	—	Δ1 Δ0.6	22 4.7
営業利益	Δ0 Δ0.5	5 57.1	5 27.7	—	—	0 0.1	5 12.8

特殊要因
・燃油費単価の減少:【営業利益】+0(年間)、+0(上期)
・退職金規程変更に伴う影響:【営業利益】+0(年間)、+0(上期)
・退職給付数差異影響:【営業利益】Δ0(年間)、Δ0(上期)
・賞与支給対象期間変更に伴う増支出:【営業利益】Δ1(年間)、Δ1(上期)
・社員制度改革に伴う費用増:【営業利益】Δ0(年間)、Δ0(上期)

見通し概況
風力発電の輸送・据付工事やシャットダウンメンテナンスが、下期も継続。 火力発電関連工事があるものの、上期に比べ、案件規模縮小見込み。

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額	実績	前回予想	増減額	今回予想	前回予想	増減額
売上高	500	480	20	272	270	2	227	210	17
営業利益※	51 (10.2)	43 (9.0)	8	26 (9.8)	22 (8.1)	4	24 (10.7)	21 (10.0)	3

Ⅱ. 2020年3月期 セグメント概況

H 物流サポートセグメント

1. 2Q単四半期実績

(単位:億円、%)
 ※()内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比		
		2019/3期	増減額	増減率
売上高	1,138	1,170	△32	△2.8
営業利益*	30(2.7)	30(2.6)	△0	△0.2

2Q概況

日通キャピタルでのロジスティクスファイナンス事業は、依然好調。
 日通商事における石油販売単価が下落、ロジスティクス・サポート
 事業の輸出梱包作業が減少。

2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	1,145	1,138	2,283	—	—	2,464	4,748
営業利益*	27(2.4)	30(2.7)	57(2.5)	—	—	71(2.9)	129(2.7)

項目	2019/3期 実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上高	1,115	1,170	2,285	1,281	1,272	2,553	4,839
営業利益*	26(2.4)	30(2.6)	57(2.5)	33(2.6)	36(2.9)	70(2.7)	127(2.6)

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1Q	2Q	上期	3Q予想	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	29 2.7	△32 △2.8	△2 △0.1	—	—	△89 △3.5	△91 △1.9
営業利益	0 0.8	△0 △0.2	0 0.3	—	—	1 1.5	1 1.0

特殊要因

・為替影響:【売上高】+1(年間)、+0(上期)
 【営業利益】+0(年間)、+0(上期)

見通し概況

日通キャピタルにおけるロジスティクスファイナンス事業の
 増収は継続。
 日通商事の中国向け輸出梱包等の取扱い減少、
 石油販売単価の下落等による減収を見込む。
 一方、LPガス、リース事業などの増益効果を見込む。

3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額	実績	前回予想	増減額	今回予想	前回予想	増減額
売上高	4,748	4,888	△140	2,283	2,366	△82	2,464	2,522	△57
営業利益*	129 (2.7)	126 (2.6)	3	57 (2.5)	58 (2.5)	△0	71 (2.9)	68 (2.7)	3

Ⅲ. 2020年3月期 業績予想

A 連結業績予想

(単位:億円、%) (億円未満切捨て)

項目	上期			下期			通期		
	2020/3 実績	2019/3 実績	増減額 (増減率)	2020/3 予想	2019/3 実績	増減額 (増減率)	2020/3 予想	2019/3 実績	増減額 (増減率)
売上高	10,389	10,403	△13 (△0.1)	10,710	10,981	△271 (△2.5)	21,100	21,385	△285 (△1.3)
営業利益 (営業利益率)	291 (2.8)	340 (3.3)	△48 (△14.4)	388 (3.6)	455 (4.1)	△67 (△14.7)	680 (3.2)	795 (3.7)	△115 (△14.6)
経常利益	328	377	△49 (△13.1)	401	480	△78 (△16.3)	730	858	△128 (△14.9)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	190	234	△44 (△18.9)	259	258	1 (0.4)	450	493	△43 (△8.8)

項目	上期			下期			通期		
	2020/3 実績	7/31 予想	増減額 (増減率)	2020/3 予想	7/31 予想	増減額 (増減率)	2020/3 予想	7/31 予想	増減額 (増減率)
売上高	10,389	10,500	△110 (△1.1)	10,710	11,000	△289 (△2.6)	21,100	21,500	△400 (△1.9)
営業利益 (営業利益率)	291 (2.8)	270 (2.6)	21 (7.9)	388 (3.6)	410 (3.7)	△21 (△5.2)	680 (3.2)	680 (3.2)	—

Ⅲ. 2020年3月期 業績予想

B セグメント別予想

(単位:億円)(億円未満切捨て)

セグメント	項目	上期実績	下期予想					通期予想				
			2020/3 予想	2019/3 実績	増減額	7/31 予想	増減額	2020/3 予想	2019/3 実績	増減額	7/31 予想	増減額
日本	売上高	6,103	6,304	6,410	△105	6,422	△117	12,408	12,568	△160	12,618	△210
	セグメント利益	205	287	321	△33	286	1	493	559	△66	472	21
米州	売上高	477	459	514	△55	522	△62	937	986	△49	997	△60
	セグメント利益	19	19	20	△0	27	△7	39	42	△3	47	△8
欧州	売上高	588	610	588	21	634	△23	1,199	1,148	50	1,229	△30
	セグメント利益	12	15	15	0	17	△1	28	22	5	30	△2
東アジア	売上高	559	580	639	△58	656	△75	1,140	1,227	△87	1,210	△70
	セグメント利益	15	15	18	△3	19	△3	31	30	0	33	△2
南アジア・ オセアニア	売上高	441	464	474	△9	497	△32	906	918	△12	936	△30
	セグメント利益	15	17	17	△0	23	△5	33	37	△4	43	△10
警備輸送	売上高	364	364	366	△1	371	△6	729	726	2	739	△10
	セグメント利益	△12	0	9	△8	1	△0	△12	12	△24	△18	6
重量品 建設	売上高	272	227	228	△1	210	17	500	477	22	480	20
	セグメント利益	26	24	24	0	21	3	51	45	5	43	8
物流 サポート	売上高	2,283	2,464	2,553	△89	2,522	△57	4,748	4,839	△91	4,888	△140
	セグメント利益	57	71	70	1	68	3	129	127	1	126	3

Ⅲ. 2020年3月期 業績予想

C 外部環境の変化およびその他の変動要素(予想)

変動要素	連結業績への影響 (通期予想)	参考
燃油費単価変動による影響	営業利益 + 8.8 億円 (費用減) ※上期 + 3.1 億円(費用減) 下期 + 5.6 億円(費用減)	1ℓあたりの単価 (前期年間平均/前回予想) <ul style="list-style-type: none"> 軽油 : 99.70円(104.09円/100.00円) ガソリン : 134.30円(137.30円/132.60円) 船舶重油: 51.60円(55.71円/49.10円) ※SOX規制に対応する船舶重油の費用増は、含んでおりません。
為替による影響	売上高 △ 165.5 億円 営業利益 △ 5.5 億円 ※上期 売上高 △ 50.3 億円 営業利益 △ 1.6 億円 下期 売上高 △ 115.2 億円 営業利益 △ 3.9 億円	年間平均為替レート※(前期年間平均/前回予想) <ul style="list-style-type: none"> USD : 108.80円(110.43円/111.10円) EUR : 121.50円(130.42円/125.10円) HKD : 13.80円(14.09円/14.10円) RMB : 15.70円(16.72円/16.50円) ※「年間平均為替レート」は、参考値。 決算では、四半期平均レートを各現地通貨ベースの四半期実績に適用。
退職給付会計の 数理差異償却額の 増加	営業利益 △ 17.3 億円 ※上期 △ 8.6 億円 下期 △ 8.6 億円	<ul style="list-style-type: none"> 日本 : △ 13.8 億円 警備輸送 : △ 3.0 億円 重量品建設 : △ 0.4 億円

Ⅲ. 2020年3月期 業績予想

C 外部環境の変化およびその他の変動要素(予想)

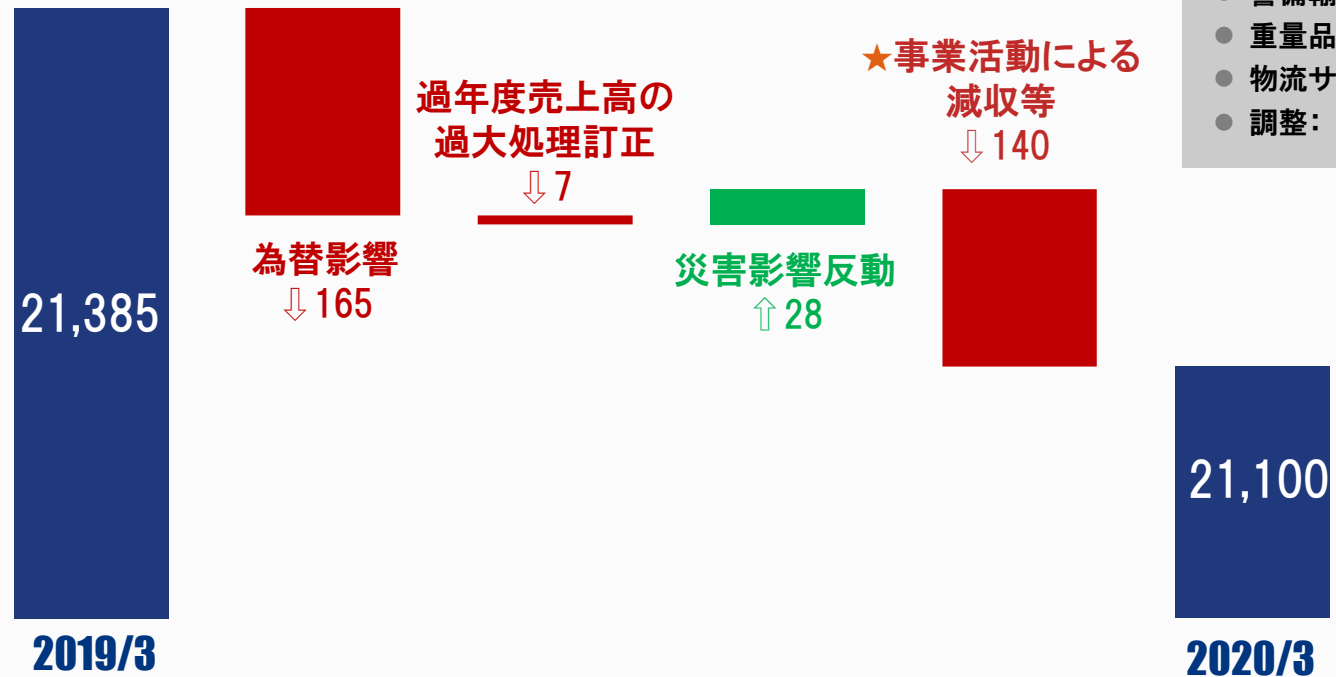
変動要素	連結業績への影響 (通期予想)	参考
災害による影響 (前年特殊要因)	営業利益 + 10.1 億円 ※上期 + 9.0 億円 下期 + 1.0 億円	(参考) 2019年3月期における影響 ・災害に伴うお客様工場の稼働停止等による輸送機会損失影響 $\Delta 24.3$ 億円 ・代行輸送等による通常以外の輸送対応 +14.1億円
社員制度改革に伴う増減	営業利益 Δ 48 億円 ※上期 Δ 21.2 億円 下期 Δ 26.8 億円	<ul style="list-style-type: none"> 日本 : Δ 32.5億円 警備輸送 : Δ 14.9億円 重量品建設 : Δ 0.5億円
環境投資	営業利益 Δ 4.7 億円 ※上期 Δ 2.4 億円 下期 Δ 2.3 億円	<ul style="list-style-type: none"> 日本 : Δ 4.7 億円
賞与支給対象期間の変更の影響	営業利益 Δ 46.3 億円	<ul style="list-style-type: none"> 日本 : Δ 35.4 億円(1Q) 警備輸送 : Δ 9.7 億円(1Q) 重量品建設 : Δ 1.1 億円(1Q)
退職金規程の変更の影響	営業利益 + 10.5 億円 ※上期 + 3.8 億円 下期 + 6.6 億円	<ul style="list-style-type: none"> 日本 : 9.6 億円 警備輸送 : 0.6 億円 重量品建設 : 0.3 億円
過年度売上高の過大処理訂正	売上高、営業利益 Δ 7.8 億円	<ul style="list-style-type: none"> 日本 : Δ 7.8 億円(2Q)

Ⅲ. 2020年3月期 業績予想

D 売上高・営業利益増減内訳

1. 売上高

(単位:億円)



★事業活動による減収等 セグメント内訳

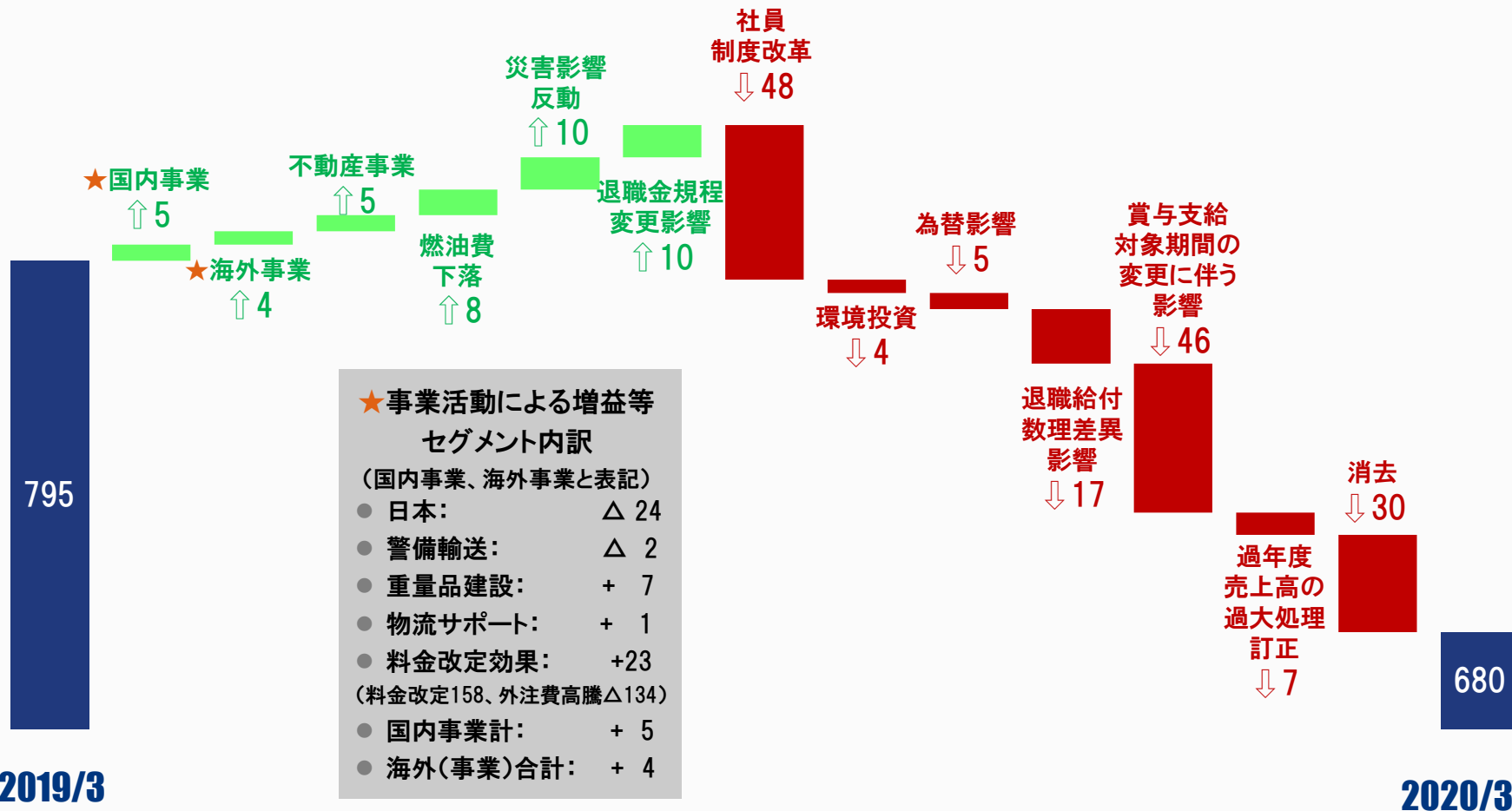
- 日本: $\Delta 180$
- 海外合計: + 67
- 警備輸送: + 2
- 重量品建設: +22
- 物流サポート: $\Delta 92$
- 調整: +41

Ⅲ. 2020年3月期 業績予想

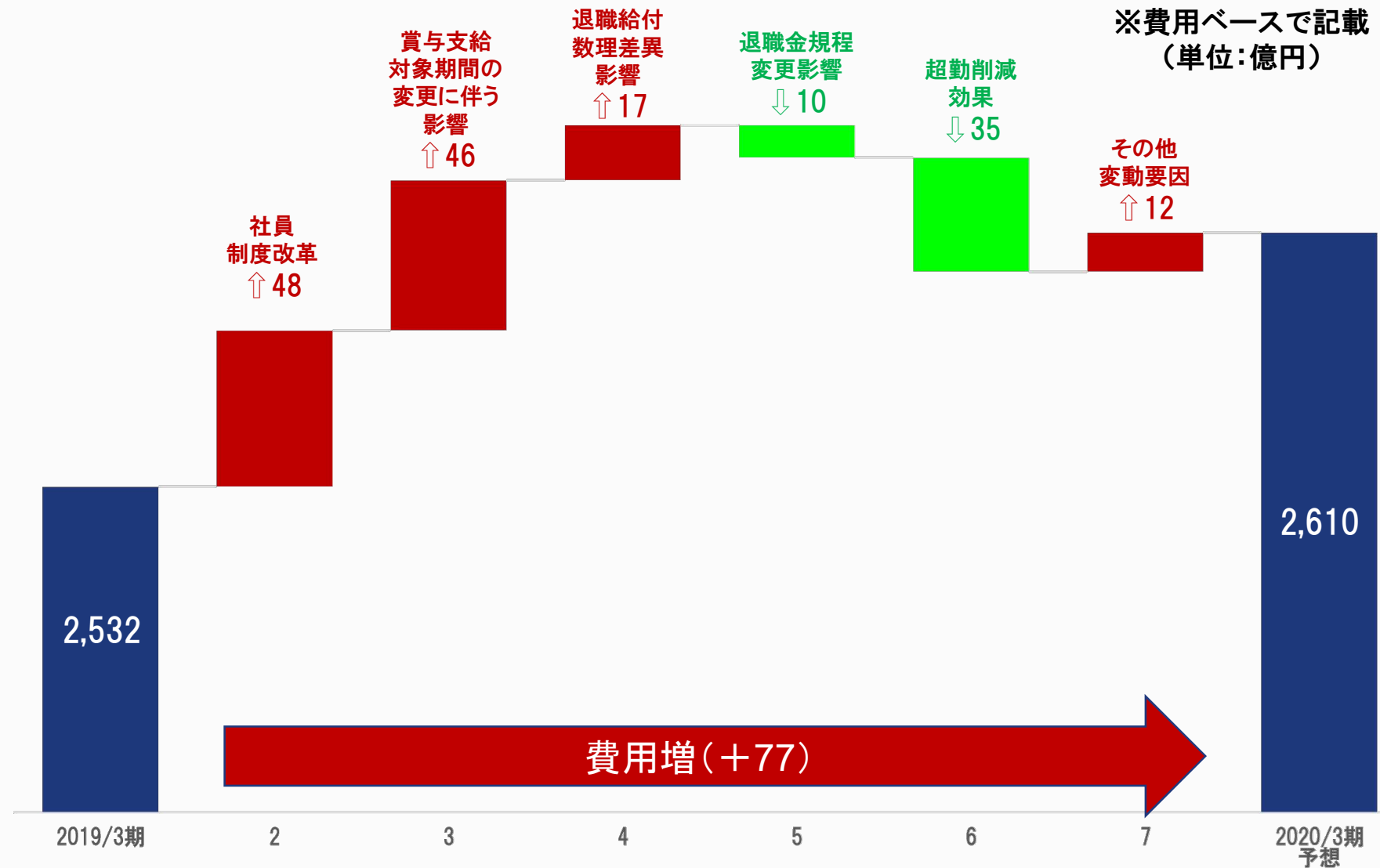
D 売上高・営業利益増減内訳

2. 営業利益

(単位:億円)



(参考) 個別 総人件費の増減



IV. 日通グループ経営計画2023 KPI

A 日通グループ経営計画2023 KPI <コア事業の成長戦略>(10/31修正版)

項目 (売上高)	国内*		海外	
	2019年3月期 実績	2024年3月期 KPI	2019年3月期 実績	2024年3月期 KPI
電機・電子産業への取組強化	1,150億円	1,200億円	1,050億円	1,450億円
自動車産業への取組強化	800億円	1,100億円	590億円	1,100億円
アパレル産業への取組強化	160億円	245億円	480億円	800億円
医薬品産業への取組強化	160億円	360億円	100億円	400億円
項目 (売上高)	2019年3月期 実績	2024年3月期 KPI		
非日系顧客の拡大(GAM・GTA*)	260億円	430億円		
項目(フォワーディング数量)	2019年3月期 実績		2024年3月期 KPI	
海上フォワーディングの拡大	68万TEU		130万TEU	
航空フォワーディングの拡大	90万t		140万t	

* 国内実績、KPI数値は、日本通運単体のみ。

* GAMとは、GAM(Global Account Management)のこと。GTAとは、GTA(Global Target Accounts)のこと。

* フォワーディング数量は、1月～12月の1年間数量。

IV. 日通グループ経営計画2023 KPI

B 進捗

項目 (売上高)	国内*			海外		
	2020年3月期 上期実績	2020年3月期 予想	進捗率	2020年3月期 上期実績	2020年3月期 予想	進捗率
電機・電子産業への 取組強化	525億円	1,160億円	45.3%	520億円	1,110億円	46.8%
自動車産業への 取組強化	335億円	850億円	39.4%	295億円	670億円	44.0%
アパレル産業への 取組強化	80億円	175億円	45.7%	280億円	530億円	52.8%
医薬品産業への 取組強化	70億円	180億円	38.9%	60億円	120億円	50.0%

項目 (売上高)	2020年3月期 上期実績	2020年3月期 予想	進捗率
非日系顧客の拡大 (GAM・GTA*)	135億円	298億円	45.3%
項目 (フォワーディング数量)	2020年3月期 上期実績	2020年3月期 予想	進捗率
海上フォワーディングの 拡大	34万TEU	76万TEU	47.7%
航空フォワーディングの 拡大	36万t	76万t	47.4%

- * 国内実績、KPI数値は、日本通運単体のみ。
- * GAM: GAM(Global Account Management)。
GTA: GTA(Global Target Accounts)。
- * フォワーディング数量は、1月～12月の1年間数量。

IV. 日通グループ経営計画2023 KPI

B 進捗

環境(E)に関する項目	指標	2019年3月期 実績	KPI	
			2022年3月期	2024年3月期
CO2排出量削減(単体)	対2017年度比 2017年度実績 468,069t	28,525t削減 (439,544t)	16,000t削減	24,000t削減

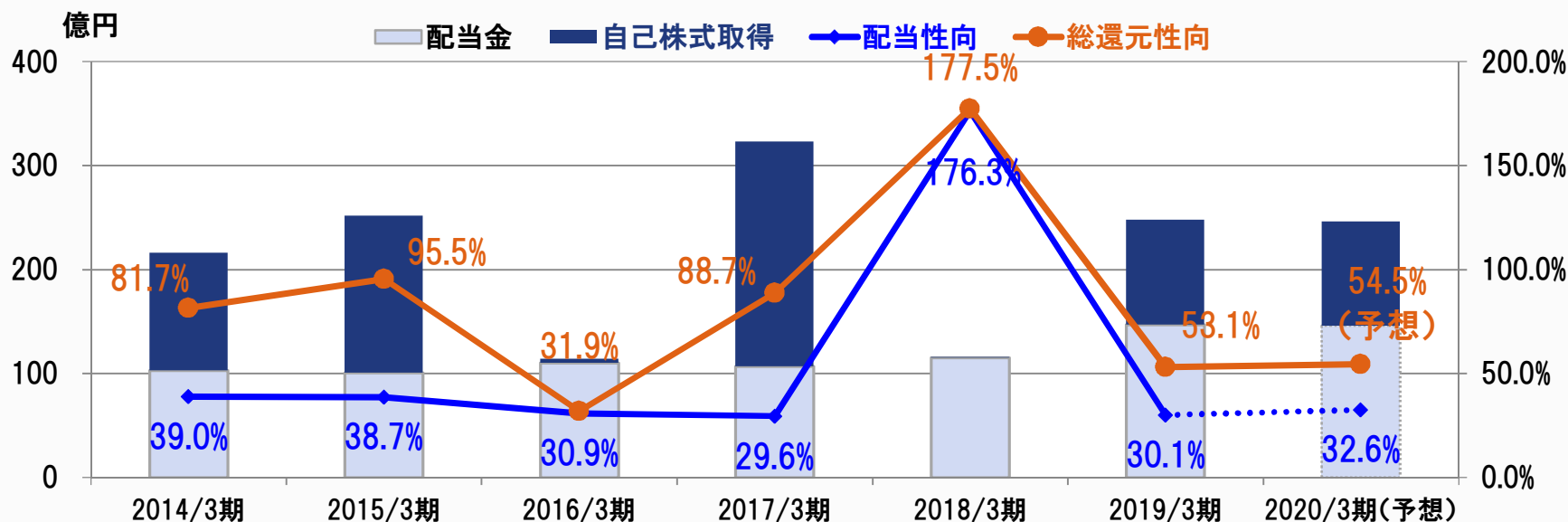
社会(S)に関する項目	指標	2019年3月期 実績	KPI	
			2022年3月期	2024年3月期
ワークスタイルの変革	年次有給休暇 取得率 2017年度実績 24.3%	28.4%	—	2017年度比 倍増

V. 株主還元

A 資本政策

- ROE 10%
- 配当性向 30%以上
- 総還元性向 50%以上(2019~2023年度累計)
- 自己資本比率 35%程度

B 各種実績推移



1株当たり配当額 (年間)	10	10	11	11	120*	155	155(予想)
ROE	5.2	5.1	6.8	6.9	1.2	9.2	8.4(予想)

※ 2017年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株に併合いたしましたので、2018年3月期以降の配当額については、当該株式併合を考慮した金額で記載しております。

VI. 「日本事業強靱化戦略」 ～支店組織大括り化後のロードマップ～

2019												2020					
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
組織改正を実施 ・ 小規模支店を統合→大規模化 ・ 支店の業務支援体制を再構築																	
						 統合後の体制強化 ・ 業務支援部門人員の再配置 ・ 安全・コンプライアンス推進体制の強化 ・ 大括り化に伴う拠点の統合・整理											
支店数												 統合効果の生み出し ・ 営業人材の生み出し ・ ガバナンスの強化 ・ 再編に伴う施設の利活用					
						188 支店						114 支店					

支店組織の大括り化後、支店の業務支援体制を再編
 → 営業力・ガバナンスの強化、収益性の向上を推進

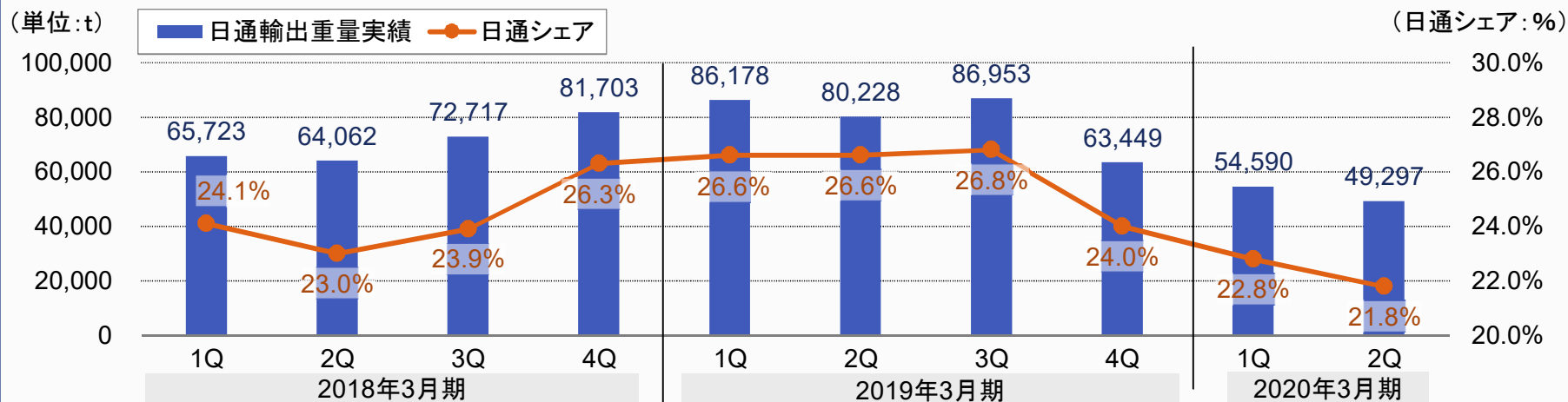
補足資料

本資料に掲載している情報は、各項目の傾向を示しておりますが、各種決算処理を行う前のデータを使用しているため、項目ごとの合計数値は、決算数値と異なる場合があります。

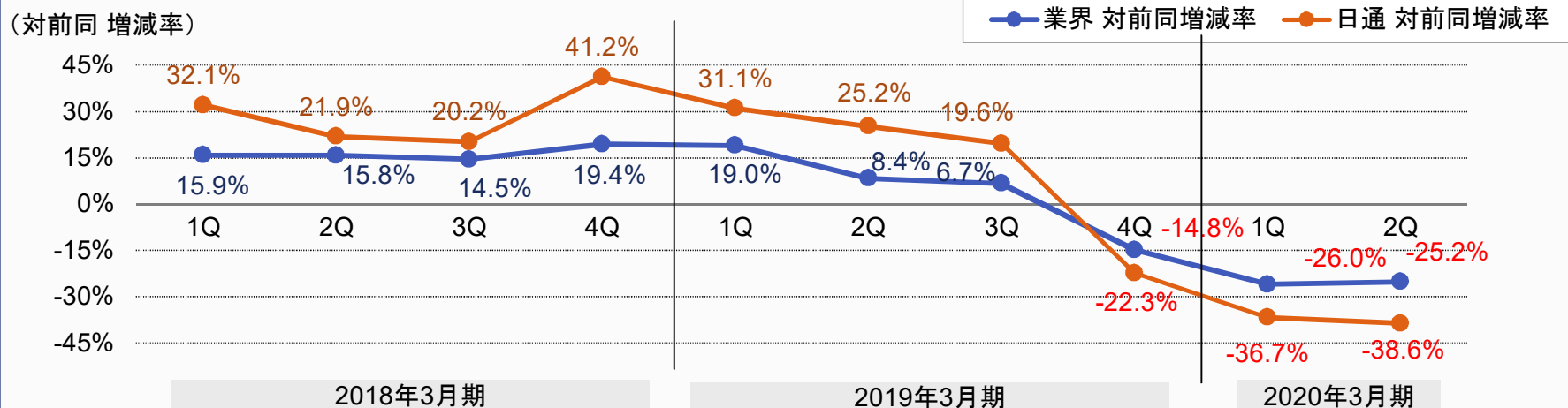
当社事業の現況をご理解いただくための参考資料として作成しておりますので、その旨、ご承知おきください。

(補足1) 日本発 輸出航空貨物 重量動向

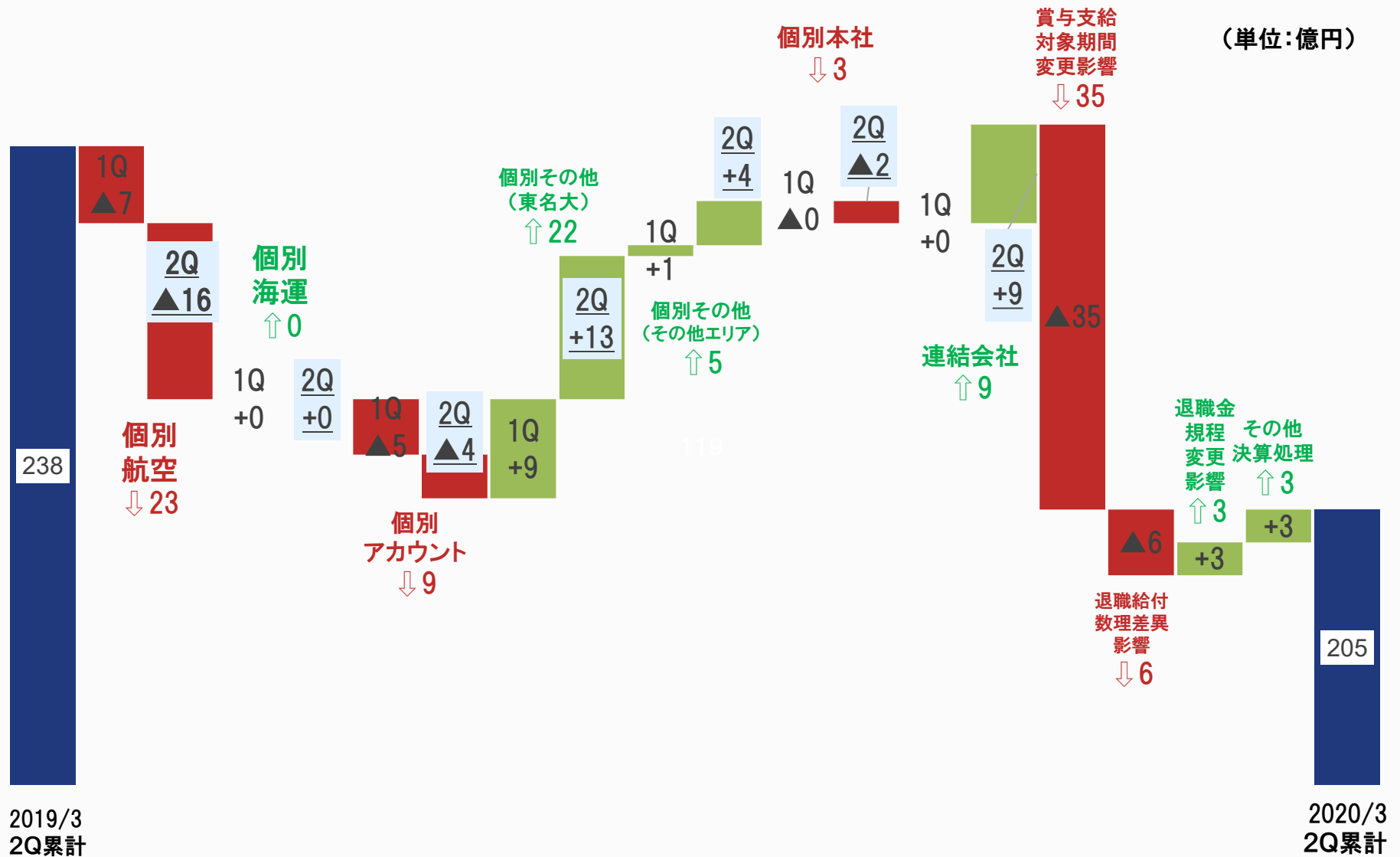
日本発 輸出航空貨物 重量動向



日本発 輸出航空貨物 対前同増減率推移・比較



(補足2) 日本セグメント内 事業別営業利益増減(FY2019 2Q累計)



(補足2) 日本セグメント内 事業別営業利益増減(FY2019 2Q累計)

(単位:億円)

	上期		
	実績	前同	対前同増減
個別 航空	41	65	▲ 23
個別 海運	46	46	0
個別 アカウント	19	29	▲ 9
個別 その他(東名大)	97	75	22
個別 その他(その他エリア)	45	40	5
個別 本社	▲74	▲71	▲3
連結会社	74	64	9
特殊要因、決算処理等	▲46	▲11	▲34
セグメント利益	205	238	▲32

(注)

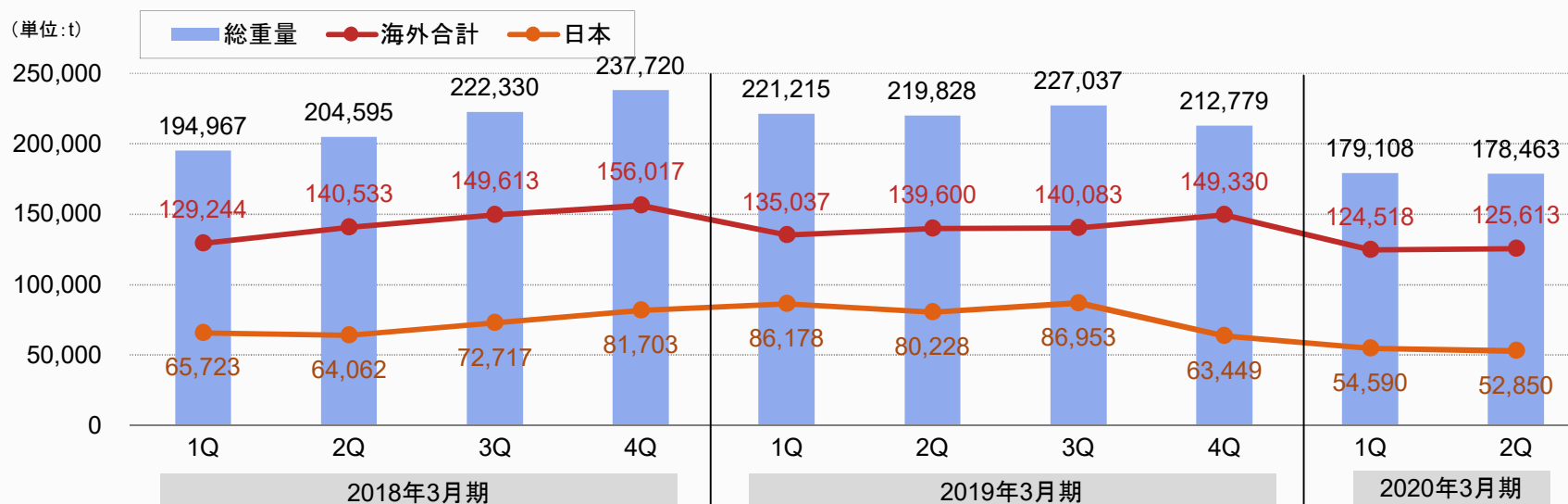
- 記載している参考数値は、当社経理システムで取得可能なデータに基づき、当社が合理的と判断する方法で算出しておりますが、2016年3月期までの輸送モード別の報告セグメントとは、異なります。
- 「個別 航空」は、個別の内、利用航空運送事業及び付随する事業を主に取り扱う支店の合計で、アカウントマネジメントに特化した支店は除きます。
- 「個別 海運」は、個別の内、海上運送事業、港湾運送事業及び付随する事業を主に取り扱う支店の合計で、アカウントマネジメントに特化した支店は除きます。
- 「個別 アカウント」は、東京、名古屋、大阪に配置しているアカウントマネジメントに特化した4支店で、航空、海運、自動車、鉄道、倉庫等を含んでおりません。
- 「個別 その他」は、自動車、鉄道、倉庫等を主に取り扱う支店の合計です。
- 「個別 本社」には、個別本社の費用のうち、日本セグメントに該当する部分を抽出しております。

(補足3) 輸出貨物動向(航空)

(単位:t)

発地 地域名	2018年3月期					2019年3月期					2020年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計
日本	65,723	64,062	72,717	81,703	284,205	86,178	80,228	86,953	63,449	316,808	54,590	52,850			
米州	18,610	21,729	20,304	20,496	81,139	21,149	22,915	22,532	21,193	87,789	19,868	19,718			
欧州	28,592	30,992	32,292	38,935	130,811	29,479	30,638	31,618	37,874	129,609	29,856	29,131			
東アジア	40,917	45,648	46,197	48,532	181,294	40,761	42,084	41,122	45,847	169,814	35,258	36,883			
南アジア・オセアニア	41,124	42,164	50,819	48,053	182,160	43,648	43,963	44,810	44,416	176,837	39,535	39,881			
海外合計	129,244	140,533	149,613	156,017	575,404	135,037	139,600	140,083	149,330	564,050	124,518	125,613			
総重量	194,967	204,595	222,330	237,720	859,609	221,215	219,828	227,037	212,779	880,859	179,108	178,463			

(注)海外地域は、1Q:1-3月 / 2Q:4-6月 / 3Q:7-9月 / 4Q:10-12月 となります。

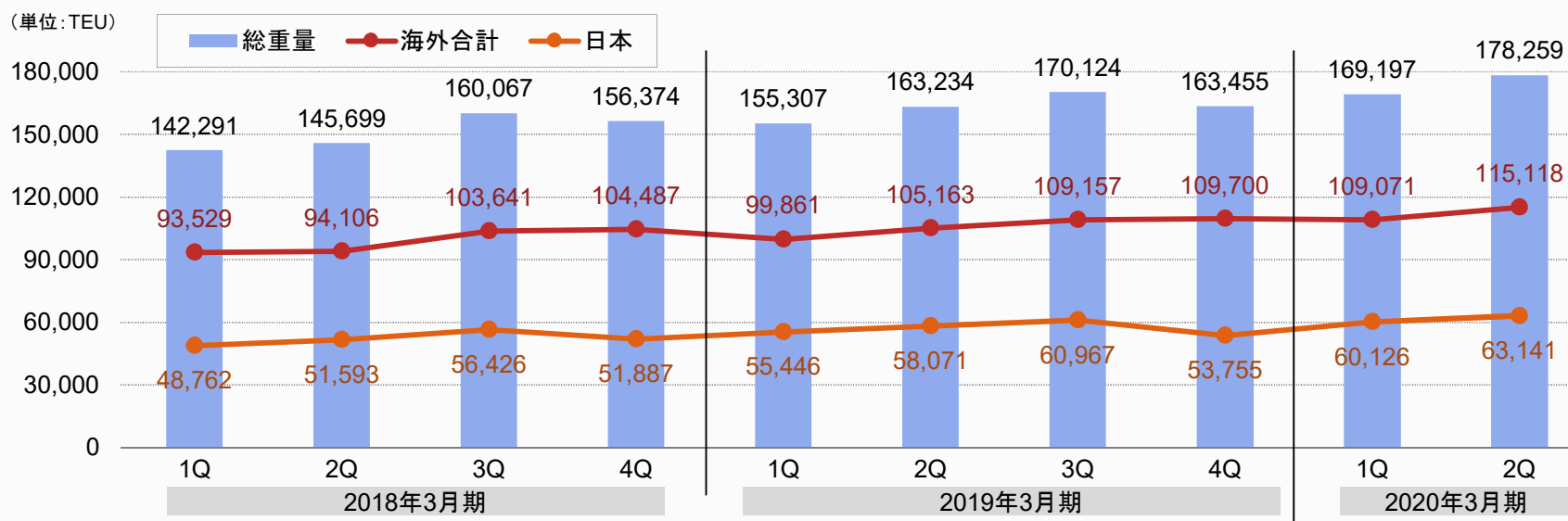


(補足4) 輸出貨物動向(海運)

(単位:TEU)

発地 地域名	2018年3月期					2019年3月期					2020年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計
日本	48,762	51,593	56,426	51,887	208,668	55,446	58,071	60,967	53,755	228,239	60,126	63,141			
米州	8,581	8,333	8,285	9,615	34,815	8,957	9,761	8,998	9,603	37,319	9,157	9,539			
欧州	12,320	10,441	11,330	12,063	46,153	10,862	11,292	10,897	11,107	44,158	10,943	12,330			
東アジア	47,411	49,142	53,948	52,030	202,531	50,551	54,801	57,456	57,046	219,854	59,122	62,103			
南アジア・オセアニア	25,218	26,189	30,079	30,779	112,264	29,491	29,309	31,806	31,944	122,550	29,847	31,145			
海外合計	93,529	94,106	103,641	104,487	395,763	99,861	105,163	109,157	109,700	423,881	109,071	115,118			
総重量	142,291	145,699	160,067	156,374	604,431	155,307	163,234	170,124	163,455	652,120	169,197	178,259			

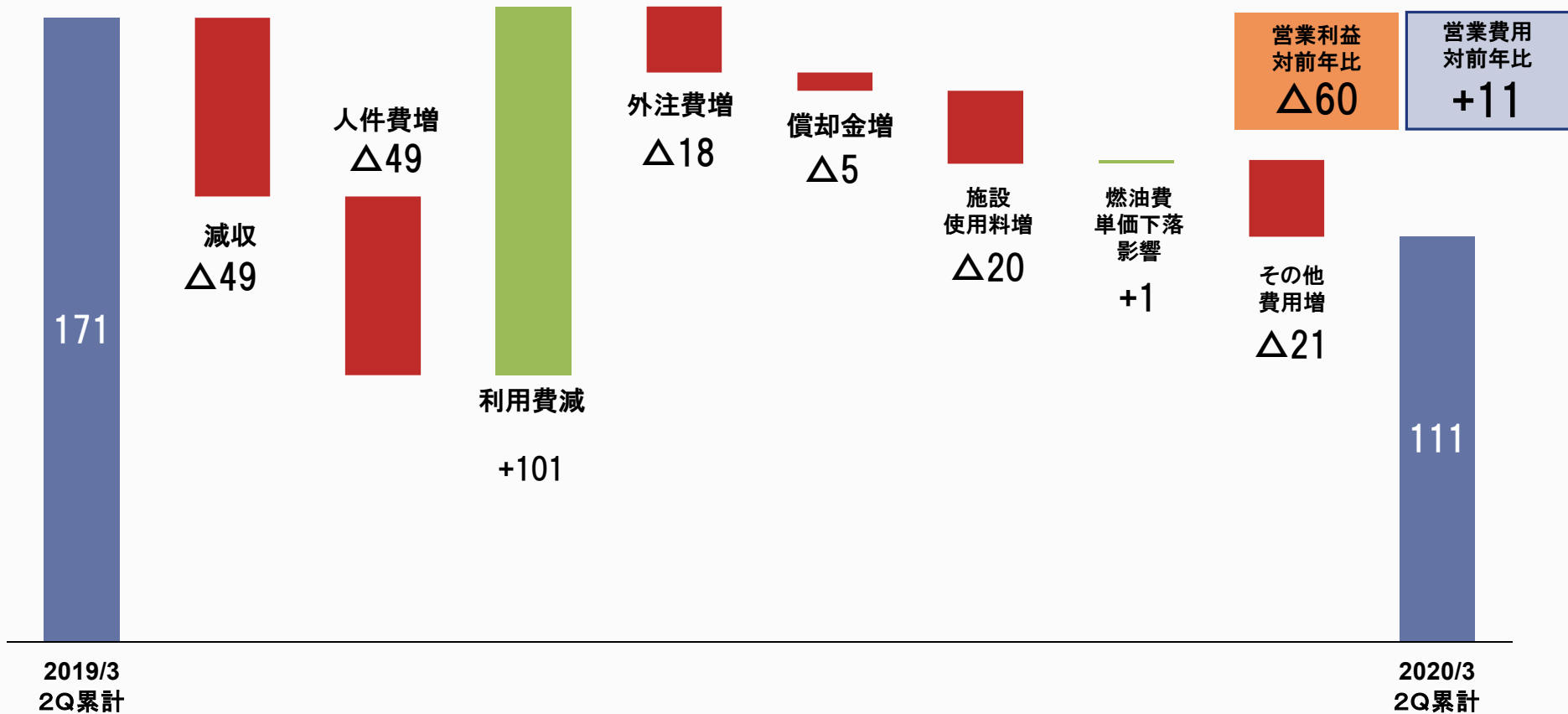
(注)海外地域は、1Q:1-3月 / 2Q:4-6月 / 3Q:7-9月 / 4Q:10-12月 となります。



(補足5) 個別費用増減(FY2019 2Q累計)

(単位:億円)

(注)グラフの増減は、利益ベースで表示



営業利益
対前年比
△60

営業費用
対前年比
+11

各種費用詳細(2Q累計)		(費用ベースで表示)	
利用費減	△101(△14.2%)	外注費増	+18(+0.8%)
鉄道利用費	+36(20.7%)	備車費	+6(+0.6%)
船舶利用費	+4(+3.1%)	下請費	+12(+1.0%)
航空利用費	△143(△37.5%)	作業人材派遣費	△0(△1.0%)

We Find the Way



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。